

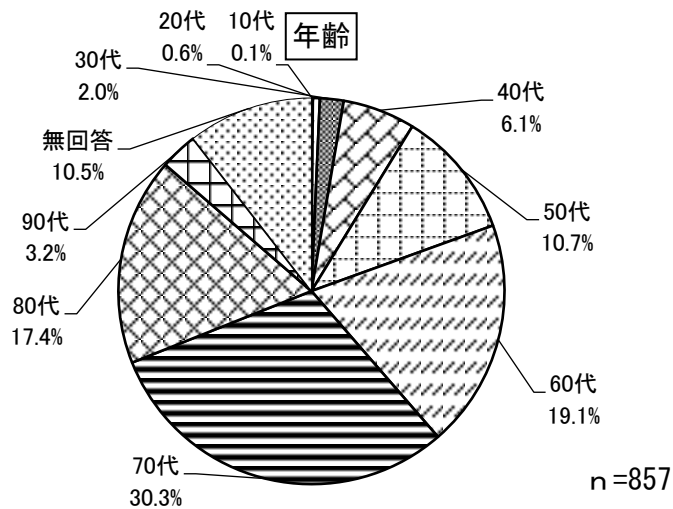
【4.精神科病院調査】

3. 4 精神科病院調査

1 病院調査

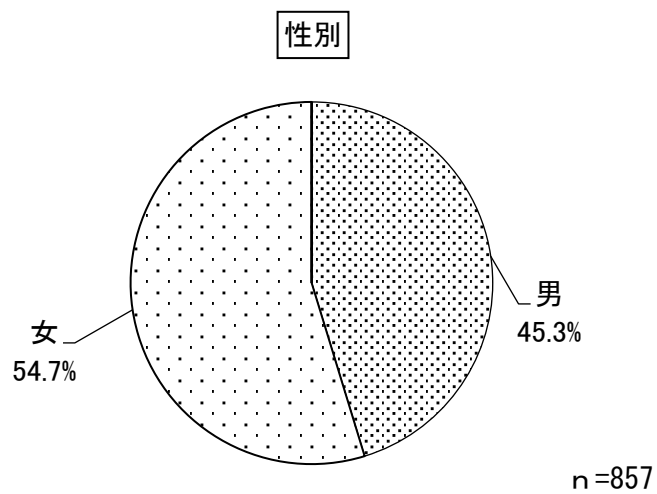
A 令和4年10月1日現在の満年齢を記入してください。

年齢は、「70代」が30.3%と最も高く、次いで、「60代」が19.1%となっている。



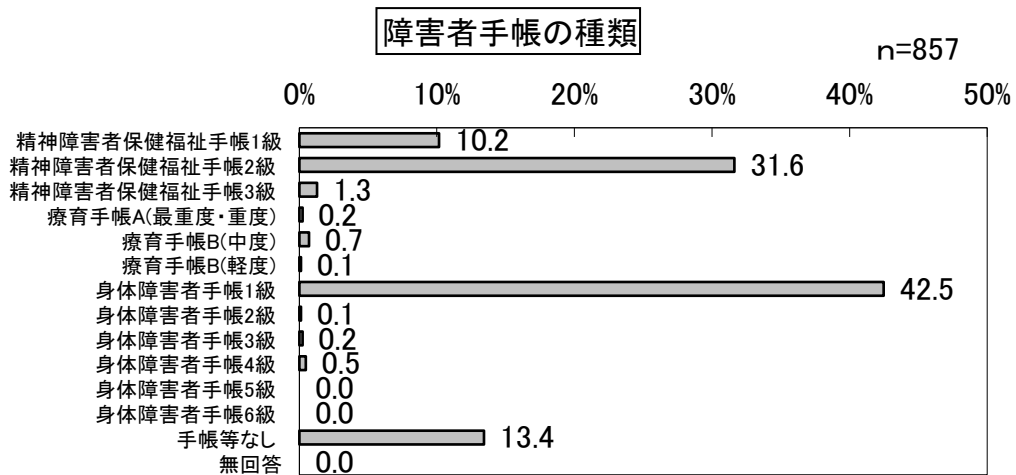
B 性別を次の区分により記入してください。

性別については、「女」が54.7%、「男」が45.3%となっている



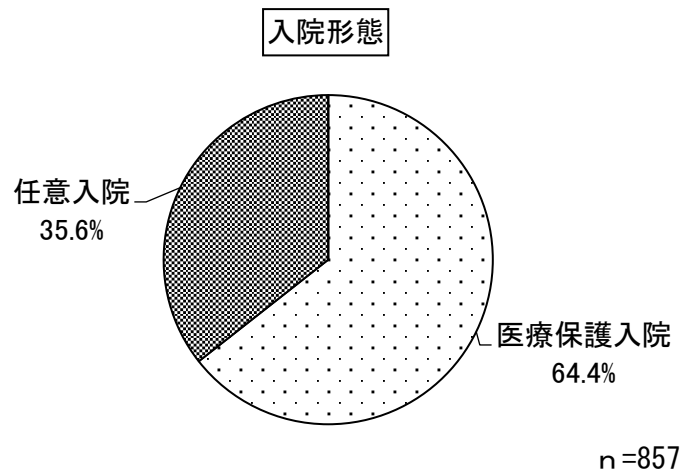
C ご本人が持っている障害者手帳等の種類はどれですか。次の区分により記入してください。【複数回答】

障害者手帳の種類については、「身体障害者手帳1級」が42.5%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳2級」が31.6%、「手帳等なし」が13.4%となっている。



D 入院形態を次の区分より記入してください。

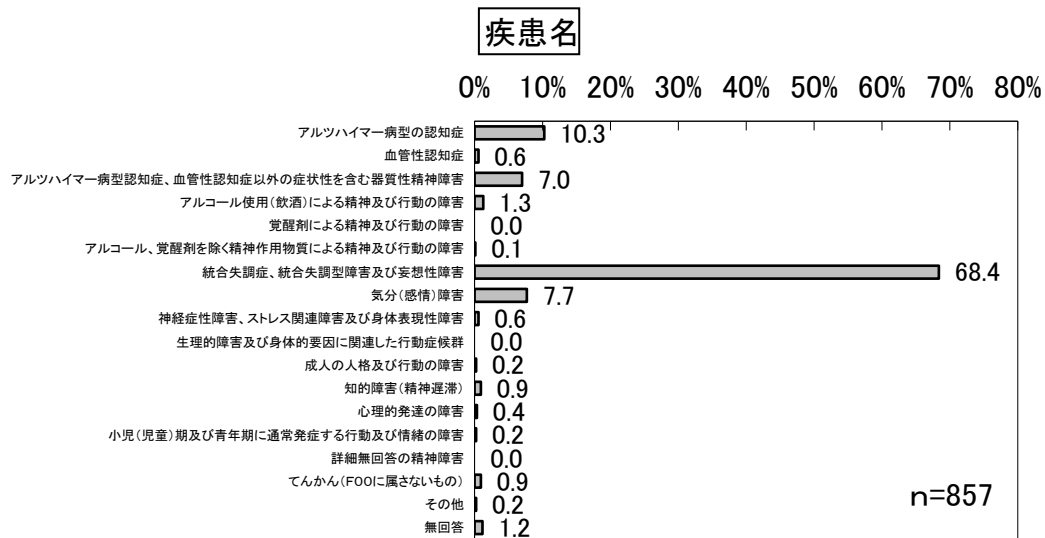
入院形態については、「医療保護入院」が64.4%と最も高く、次いで「任意入院」が35.6%となっている。



【4.精神科病院調査】

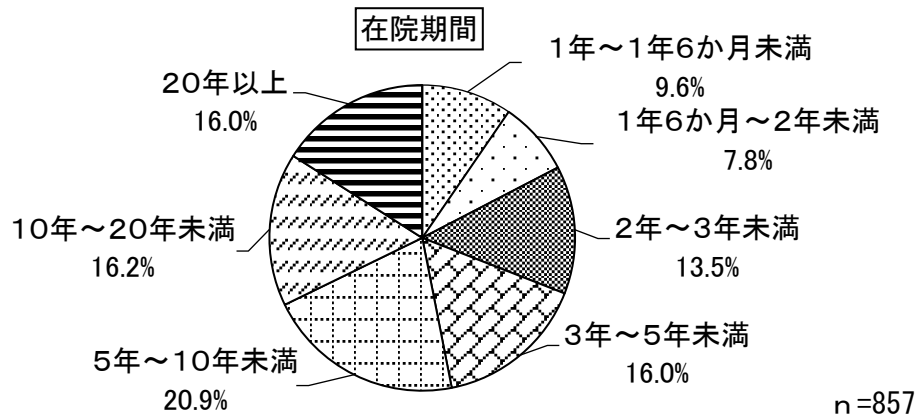
E 疾患名を次の区分により記入してください(厚生労働省調査と同じ区分です)。

疾患名については、「統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害」が 68.4%と最も高く、次いで「アルツハイマー病型の認知症」が 10.3%、「気分（感情）障害」が 7.7%となっている。



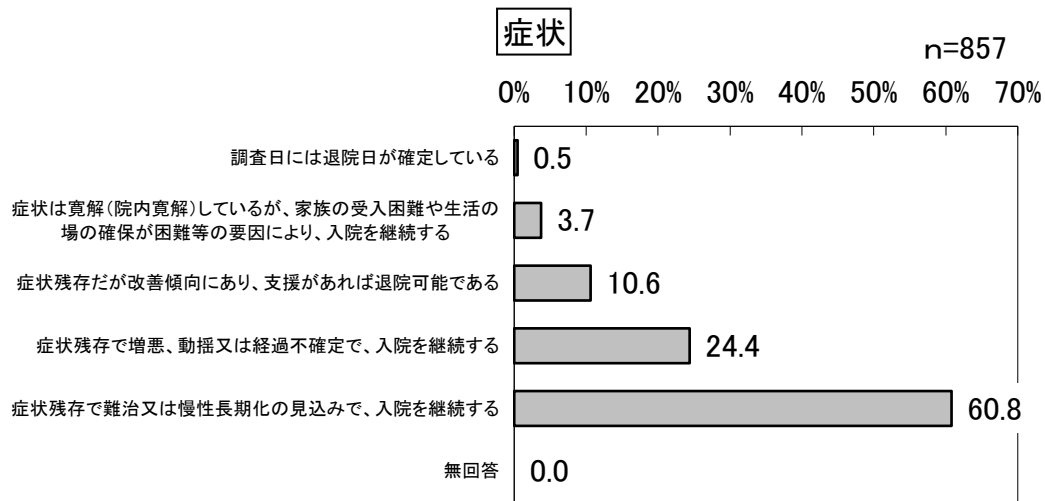
F 在院期間を次の区分により記入してください。

在院期間については、「5年～10年未満」が 20.9%と最も高く、次いで「10年～20年未満」が 16.2%、「3年～5年未満」が 16.0%となっている。



G 症状を次の区分で記入してください。

症状については、「症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する」が60.8%と最も高く、次いで「症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する」が24.4%、「症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院可能である」が10.6%となっている。



【4.精神科病院調査】

疾患名別にみると、「アルコール、覚醒剤を除く精神作用物質による精神及び行動の障害」「心理的発達障害」では「症状は寛解（院内寛解）しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難等の要因により、入院を継続する」が最も高く、「成人の人格及び行動の障害」では「症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院可能である」が最も高くなっている。それ以外では「症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する」と「症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する」に回答が集中している。

	G症状区分					
	調査日には退院日が確定している	症状は寛解（院内寛解）しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難等の要因により、入院を継続する	症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院可能である	症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する	症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する	無回答
全体	0.5%	3.7%	10.6%	24.4%	60.8%	0.0%
アルツハイマー病型の認知症	0.0%	5.7%	9.1%	22.7%	62.5%	0.0%
血管性認知症	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%
アルツハイマー病型認知症、血管性認知症以外の症状性を含む器質性精神障害	0.0%	1.7%	1.7%	35.0%	61.7%	0.0%
アルコール使用（飲酒）による精神及び行動の障害	0.0%	27.3%	27.3%	9.1%	36.4%	0.0%
覚醒剤による精神及び行動の障害	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
アルコール、覚醒剤を除く精神作用物質による精神及び行動の障害	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	0.5%	3.1%	10.4%	23.4%	62.6%	0.0%
気分（感情）障害	1.5%	4.5%	22.7%	18.2%	53.0%	0.0%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
成人の人格及び行動の障害	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
知的障害（精神遅滞）	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	50.0%	0.0%
心理的発達障害	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
詳細無回答の精神障害	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
てんかん（F O Oに属さないもの）	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	62.5%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

在院期間別による違いは見受けられなかった。

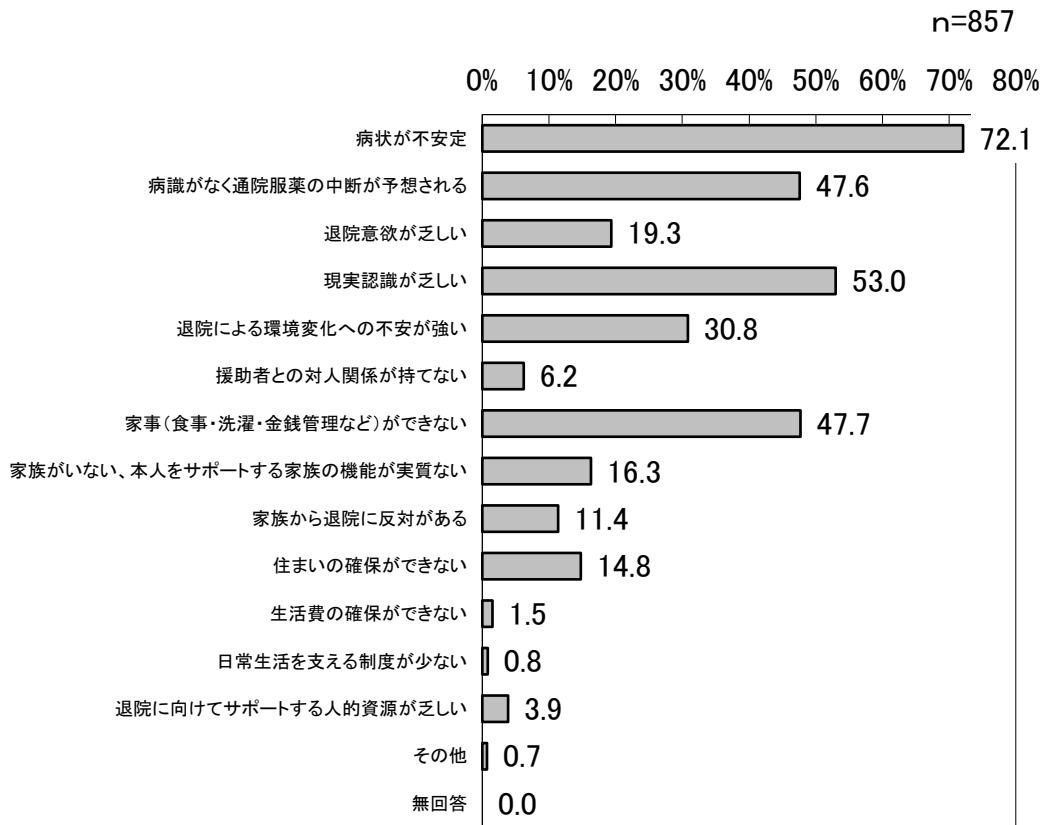
	G症状区分					
	調査日には退院日が確定している	症状は寛解（院内寛解）しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難等の要因により、入院を継続する	症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院可能である	症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する	症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する	無回答
全体	0.5%	3.7%	10.6%	24.4%	60.8%	0.0%
1年～1年6か月未満	0.0%	3.7%	22.0%	26.8%	47.6%	0.0%
1年6か月～2年未満	1.5%	3.0%	9.0%	31.3%	55.2%	0.0%
2年～3年未満	0.0%	7.8%	12.9%	33.6%	45.7%	0.0%
3年～5年未満	1.5%	2.9%	8.8%	21.9%	65.0%	0.0%
5年～10年未満	0.6%	6.1%	9.5%	25.7%	58.1%	0.0%
10年～20年未満	0.0%	1.4%	9.4%	18.7%	70.5%	0.0%
20年以上	0.0%	0.7%	7.3%	18.2%	73.7%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【4.精神科病院調査】

H 《G の回答が「調査日には退院日が確定している」以外の方について記入してください》
 退院に向けての課題となっている主たる要因を記入してください。
 【複数回答】

退院に向けての課題については、「病状が不安定」が 72.1%と最も高く、次いで「現実認識が乏しい」が 53.0%、「家事（食事・洗濯・金銭管理など）ができない」が 47.7%となっている。

退院に向けての課題



【4.精神科病院調査】

症状別にみると、「症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する」「症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する」では「病状が不安定」の割合が最も高く、「病状は寛解（院内寛解）しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難等の要因により、入院を継続する」「症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院可能である」では「家事（食事・洗濯・金銭管理など）ができない」が最も高くなっている。

	H退院ができない要因						
	病状が不安定	病識がなく通院服薬の中断が予想される	退院意欲が乏しい	現実認識が乏しい	退院による環境変化への不安が強い	援助者との対人関係が持てない	家事（食事・洗濯・金銭管理など）ができない
全体	72.1%	47.6%	19.3%	53.0%	30.8%	6.2%	47.7%
調査日には退院日が確定している	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
症状は寛解（院内寛解）しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難等の要因により、入院を継続する	3.1%	34.4%	40.6%	56.3%	46.9%	9.4%	59.4%
症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院可能である	16.5%	41.8%	49.5%	53.8%	52.7%	2.2%	59.3%
症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する	73.2%	55.5%	21.1%	55.0%	41.6%	5.3%	46.4%
症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する	85.6%	46.3%	12.1%	51.8%	21.7%	7.1%	45.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

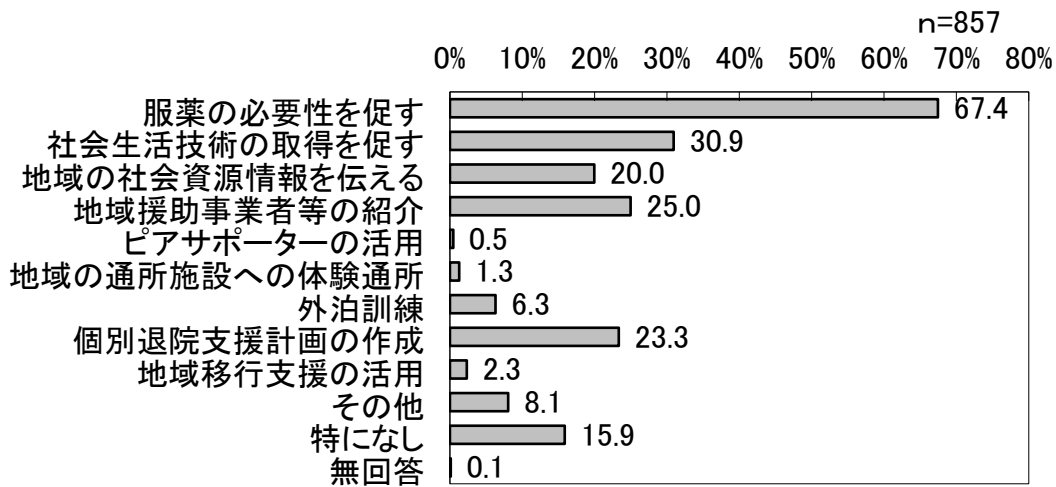
	H退院ができない要因						
	家族がいない、本人をサポートする家族の機能が実質ない	家族から退院に反対がある	住まいの確保ができない	生活費の確保ができない	日常生活を支える制度が少ない	退院に向けてサポートする人的資源が乏しい	その他
全体	16.3%	11.4%	14.8%	1.5%	0.8%	3.9%	0.7%
調査日には退院日が確定している	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
症状は寛解（院内寛解）しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難等の要因により、入院を継続する	34.4%	18.8%	46.9%	6.3%	0.0%	6.3%	3.1%
症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院可能である	31.9%	18.7%	23.1%	4.4%	1.1%	9.9%	1.1%
症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する	17.2%	16.3%	4.3%	1.9%	1.0%	4.8%	0.0%
症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する	12.1%	7.7%	15.5%	0.6%	0.8%	2.3%	0.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【4.精神科病院調査】

病院内にて行っている支援プログラムについて記入してください。
【複数回答】

病院内にて行っている支援プログラムについては、「服薬の必要性を促す」が67.4%と最も高く、次いで「社会生活技術の取得を促す」が30.9%、「地域援助事業者等の紹介」が25.0%となっている。

病院内にて行っている支援プログラム



症状別にみると、すべての症状で「服薬の必要性を促す」の回答割合が最も高くなっている。

	退院に向けての支援プログラム											
	服薬の必要性を促す	社会生活技術の取得を促す	地域の社会資源情報を伝える	地域援助事業者等の紹介	ピアサポーターの活用	地域の通所施設への体験通所	外泊訓練	個別退院支援計画の作成	地域移行支援の活用	その他	特になし	無回答
全体	67.4%	30.9%	20.0%	25.0%	0.5%	1.3%	6.3%	23.3%	2.3%	8.1%	15.9%	0.1%
調査日には退院日が確定している	50.0%	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%
症状は寛解（院内寛解）しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難等の要因により、入院を継続する	62.5%	40.6%	31.3%	3.1%	3.1%	0.0%	6.3%	21.9%	15.6%	9.4%	15.6%	0.0%
症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院可能である	68.1%	50.5%	29.7%	15.4%	3.3%	4.4%	9.9%	34.1%	11.0%	1.1%	7.7%	0.0%
症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する	64.6%	38.8%	16.7%	23.9%	0.0%	0.5%	12.4%	21.1%	1.0%	2.4%	16.3%	0.0%
症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する	68.9%	23.6%	18.6%	28.4%	0.0%	1.0%	3.3%	22.3%	0.6%	11.5%	17.1%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください。

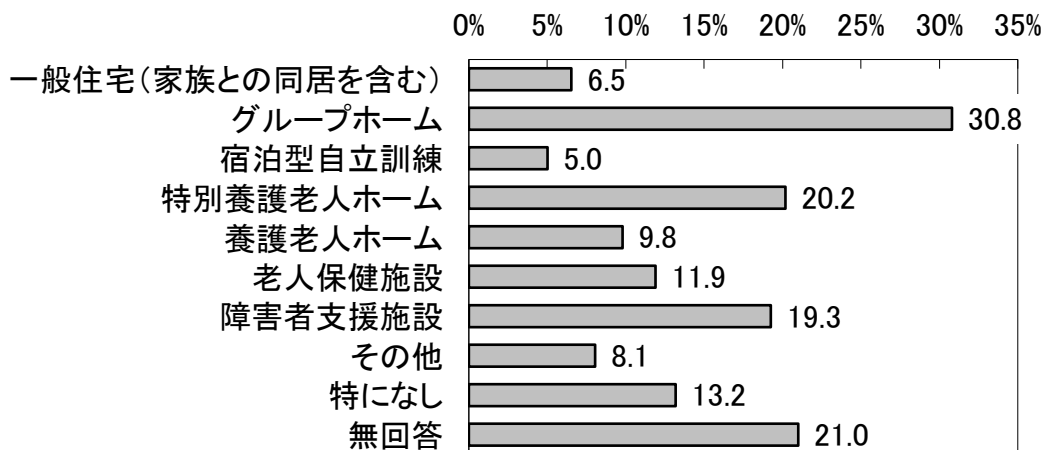
J 【複数回答】

(必要な資源・住まいの確保について)

住まいの確保については、「グループホーム」が 30.8%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」が 20.2%、「障害者支援施設」が 19.3%となっている。

必要な資源・住まいの確保

n=857



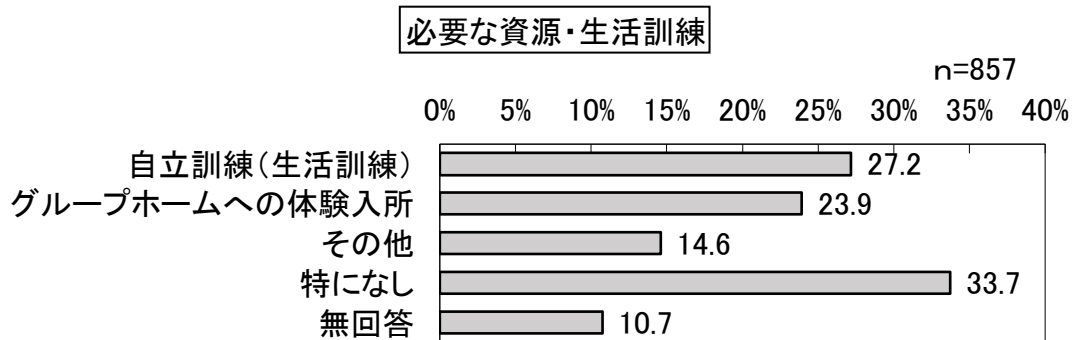
症状別にみると「症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する」では「特別養護老人ホーム」の回答割合が最も高く、それ以外では「グループホーム」が最も高くなっている。

	J住まいの確保区分									
	一般住宅 (家族との同居を含む)	グループ ホーム	宿泊型自 立訓練	特別養護 老人ホー ム	養護老人 ホーム	老人保健 施設	障害者支 援施設	その他	特になし	無回答
全体	6.5%	30.8%	5.0%	20.2%	9.8%	11.9%	19.3%	8.1%	13.2%	21.0%
調査日には退院日が確定している	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
症状は寛解(院内寛解)しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難等の要因により、入院を継続する	31.3%	56.3%	12.5%	31.3%	15.6%	34.4%	18.8%	15.6%	0.0%	0.0%
症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院可能である	15.4%	64.8%	22.0%	15.4%	13.2%	24.2%	27.5%	0.0%	3.3%	2.2%
症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する	5.3%	44.0%	6.2%	23.9%	3.8%	10.5%	30.6%	1.4%	7.2%	15.8%
症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する	3.8%	18.0%	1.2%	19.0%	11.3%	9.0%	13.4%	11.7%	18.2%	27.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【4.精神科病院調査】

K (必要な資源・生活訓練について)

生活訓練については、「特になし」が33.7%と最も高く、次いで「自立訓練（生活訓練）」が27.2%、「グループホームへの体験入所」が23.9%となっている。



症状別にみると、「症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する」では「特になし」が最も高く、それ以外では「自立訓練（生活訓練）」の割合が最も高くなっている。

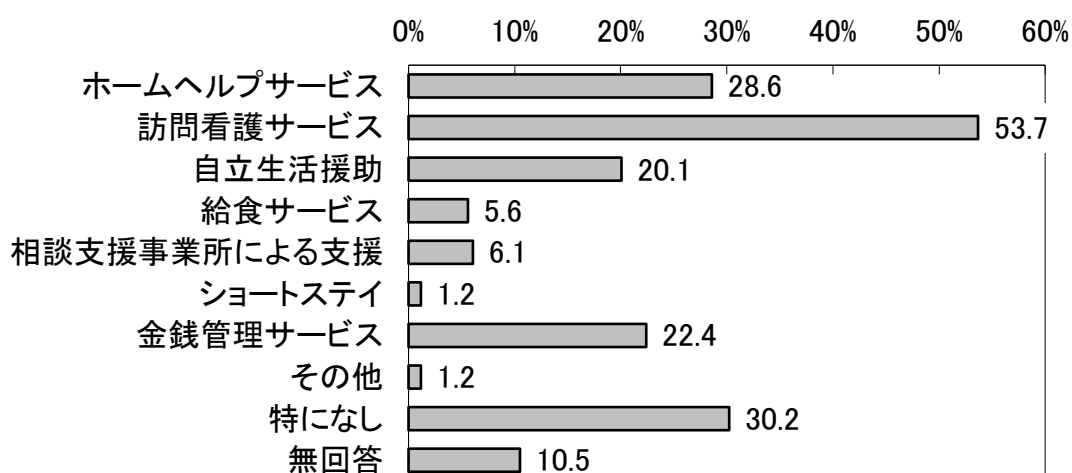
	K生活訓練区分				
	自立訓練 (生活訓練)	グループ ホームへ の体験入 所	その他	特になし	無回答
全体	27.2%	23.9%	14.6%	33.7%	10.7%
調査日には退院日が確定している	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%
症状は寛解（院内寛解）しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難等の要因により、入院を継続する	40.6%	31.3%	21.9%	34.4%	0.0%
症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院可能である	53.8%	50.5%	7.7%	17.6%	2.2%
症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する	41.6%	32.1%	4.3%	26.3%	10.0%
症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する	15.9%	15.5%	19.6%	39.7%	12.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

L (必要な資源・生活支援について)

生活支援については、「訪問看護サービス」が53.7%と最も高く、次いで「特になし」が30.2%、「ホームヘルプサービス」が28.6%となっている。

必要な資源・生活支援

n=857



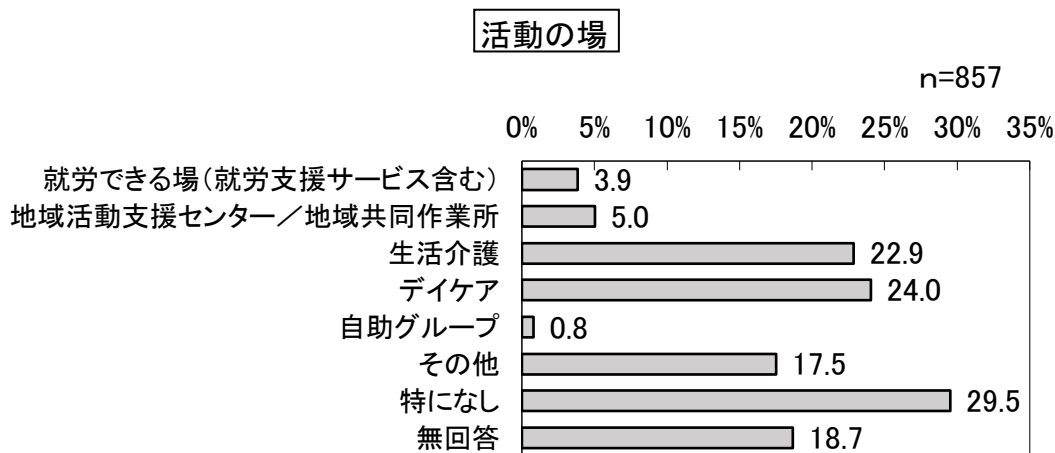
症状別にみると、「調査日には退院日が確定している」では「相談支援事業所による支援」「金銭管理サービス」が最も高く、それ以外の症状では「訪問看護サービス」が最も高くなっている。

	L生活支援区分									
	ホームヘルプサービス	訪問看護サービス	自立生活援助	給食サービス	相談支援事業所による支援	ショートステイ	金銭管理サービス	その他	特になし	無回答
全体	28.6%	53.7%	20.1%	5.6%	6.1%	1.2%	22.4%	1.2%	30.2%	10.5%
調査日には退院日が確定している	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
症状は寛解（院内寛解）しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難等の要因により、入院を継続する	12.5%	68.8%	21.9%	18.8%	31.3%	0.0%	21.9%	6.3%	21.9%	0.0%
症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院可能である	25.3%	75.8%	45.1%	23.1%	23.1%	2.2%	30.8%	1.1%	7.7%	2.2%
症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する	37.8%	59.8%	29.2%	4.8%	5.3%	0.5%	17.7%	0.5%	23.4%	10.0%
症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する	26.5%	46.6%	12.1%	2.1%	1.5%	1.3%	22.6%	1.2%	37.6%	12.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【4.精神科病院調査】

M (必要な資源・活動の場について)

活動の場については、「特になし」が29.5%と最も高く、次いで「デイケア」が24.0%、「生活介護」が22.9%となっている。



症状別にみると、「症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する」では「生活介護」の回答割合が最も高く、「症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する」では「特になし」が最も高くなっている。それ以外の症状では「デイケア」が最も高くなっている。

	M活動の場区分							
	就労できる場(就労支援サービス含む)	地域活動支援センター／地域共同作業所	生活介護	デイケア	自助グループ	その他	特になし	無回答
全体	3.9%	5.0%	22.9%	24.0%	0.8%	17.5%	29.5%	18.7%
調査日には退院日が確定している	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
症状は寛解(院内寛解)しているが、家族の受入困難や	18.8%	15.6%	25.0%	53.1%	3.1%	15.6%	18.8%	0.0%
症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院可能である	13.2%	22.0%	41.8%	58.2%	2.2%	12.1%	13.2%	3.3%
症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する	2.9%	4.8%	37.3%	33.0%	0.5%	14.8%	15.3%	23.0%
症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する	1.5%	1.3%	13.8%	12.5%	0.6%	19.8%	39.0%	20.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

N 《Mで「その他」と回答した方にお聞きします》
 (必要な資源・その他について) 【自由記述】

その他については、153件(回答件数857件の17.8%)の回答が寄せられた。得られた回答の一部を分類すると次表のとおり。

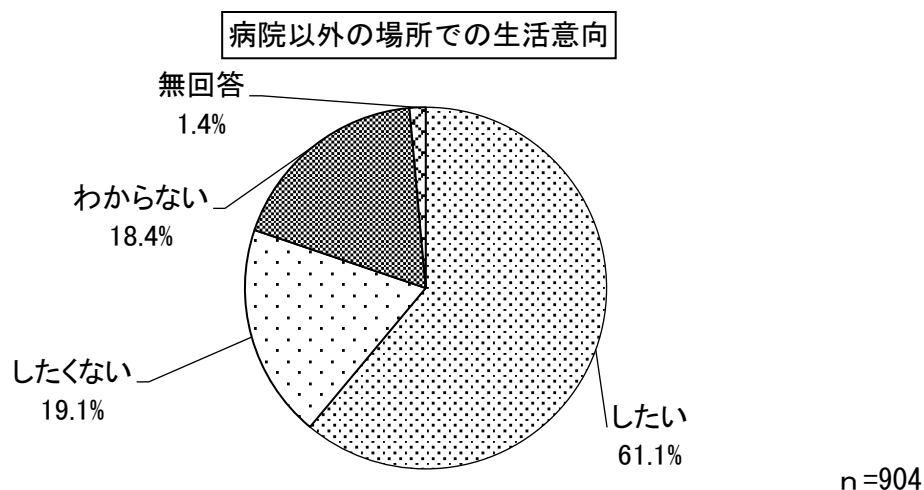
項目	回答数
①デイサービス	98
②介護保険サービス	42
③障がい福祉サービス	6
④サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム	1

【4.精神科病院調査】

2 本人調査

問1 あなたは、退院して、「病院以外の場所で」生活をしたいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。

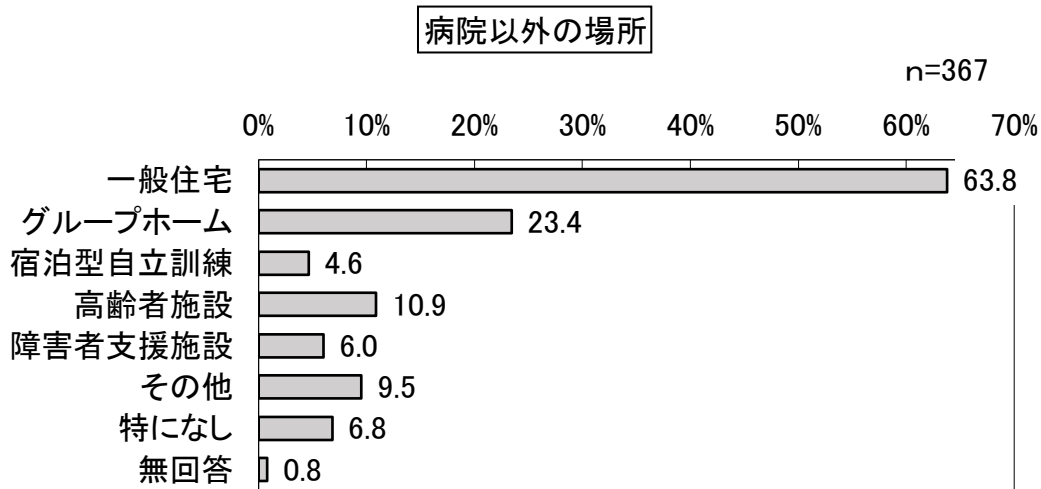
病院以外の場所での生活意向については、「したい」が61.1%と最も高く、次いで「したくない」が19.1%、「わからない」が18.4%となっている。



《問1で「したい」と回答した方にお聞きします》

問2 「病院以外の場所」はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【複数回答】

病院以外の場所については、「一般住宅」が63.8%と最も高く、次いで「グループホーム」が23.4%、「高齢者施設」が10.9%となっている。



《問1で「したい」と回答した方にお聞きします》

問3 退院に向けて準備をしていくとき、不安になることがあれば、どのようなことが不安になるかお書きください。【自由記述】

退院への不安については、399件（回答件数904件の44.1%）の回答が寄せられた。回答の一部を以下に抜粋する。

- 腰痛があるので自分のことができないかもしれない。
- 身体が不自由なため、生活全般のことが不安
- 周りに相談にのってくれる人がいるかどうか不安
- きちんと生活していけるか、何日で適応していけるか不安
- 荷物をまとめられるか不安
- 退院して何の仕事につくか決まっていない。
- 生活に向けての準備金

《問1で「したくない」と回答した方にお聞きします》

問4 退院をしたくない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。【複数回答】

退院をしたくない理由については、「退院して環境が変わることに不安があるから」が46.8%と最も高く、次いで「病状が不安だから」が41.8%、「家事（調理、洗濯、買い物等）に手助けが必要だから」が37.6%となっている。

【4.精神科病院調査】

